

■日本館サポーター専用ページを開設！

このたび、サポーターの皆様のための専用ページを開設しました！本ページでは、サポーターの皆様の意気込みやメッセージをはじめ、日本館PRのためのご活動状況、日本館関連データのアーカイブ等をご覧いただけます。

また、専用ページの開設に伴い、日本館公式ウェブサイト内「日本館サポーター」ページをリニューアルしました。更新する度にサポーターの皆様がランダムで表示されるよう設定されていますので、サイト訪問時に毎回新たな発見がある仕組みとなっています。特定のサポーターをお探しの際は、検索機能も付いていますのでご活用ください。

※サポーター専用ページに関するお問い合わせは、日本館広報事務局までご連絡ください。



■ミラノ万博への日本産食品の持込み、特例措置認められる

日本館にとって明るいニュースが飛び込んでまいりました！2月12日、ローマにおいて農林水産省とイタリア健康省の間で協議が行われ、ミラノ万博への日本産食品の持込みに係る検疫・輸送のルールの大枠について合意されました。日本産食品の持込みについては、EUの現行規則に合致しないことから、これまで農林水産省より特例措置を要請してきたところですが、このたびミラノ万博における特例措置が認められた形です。

主な品目には、日本食の基本である「だし」をとるための「かつお節」や、料理人の技を披露できる「ふぐ」などの水産品のほか、生鮮牛肉、牛肉・豚肉・家きん肉の加工品（加熱処理肉）が含まれます。ミラノ万博に向けた日本産食品の持込みが円滑に行われることで、イベント広場をはじめとする日本館での日本産食品の発信力がより大きなものとなることが期待されます。なにより、万博会場で、本場の「かつお節」や「ふぐ」が来場者に提供できるのは大きなニュースですね！詳細は農林水産省のプレスリリースをご覧ください。

□ 農林水産省プレスリリース <<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/gaisyoku/150213.html>>

■ 日本館サポーター活動の紹介

・「食戟(しょくげき)のソーマ」誌面で再び日本館を紹介

『週刊少年ジャンプ』に掲載中の人気マンガ「食戟のソーマ」原作者で、日本館サポーターである附田祐斗さんが、昨年12月に続き、2月2日発売のジャンプの誌面（68ページ）に日本館情報を掲載していただきました。今回は、日本館シンボルマーク、展示、レストラン、イベント広場についてご紹介頂いています。さらに、第三弾が同誌3月9日発売号に掲載予定ですのでぜひご覧ください。



■ 日本館関連イベント

・イベント広場参加団体「本場の本物」ブランド推進委員会による催事開催

1月21日～26日、伊勢丹新宿店で「2015年ミラノ国際博覧会100日前記念『本場の本物』特集 受け継ぎたい地域食」が開催されました。本イベントでは、東京家政学院大学の学生による「伝統食品を使ったラテ」が紹介されたり、イタリアスローフード協会のプレシディオ（伝統的な生産方法を守るための活動）に登録されている「雲仙こぶ高菜漬」など13の生産者が出展し、連日お客様でにぎわう盛況となりました。



・「和食道 和食シンポジウム」に日本館紹介ブース出展

1月31日、京都市勧業館「みやこめっせ」で開催された農林水産省主催の「和食シンポジウム」に日本館紹介ブースを出展しました。ブースでは、パネル掲示やパンフレット配布等のPRを行い、国内外の料理人のほか一般来場者の方にも多くお立ち寄りいただきました。また、和食・フランス料理の巨匠・有識者が集い、トレンド・伝統・食材をテーマとした「和食シンポジウム」が行われ、日本館サポーターである村田吉弘さん、三國清三さんらも登場しました。



■ミラノ万博関連ニュース

・世界のサッカープレーヤーが、エキシビション・マッチを開催

イタリアサッカー界とミラノ万博とが連携した企画として、ミラノの著名なサッカーチームであるインテルナツィオナーレ・ミラノ（インテル）を中心に、世界のサッカープレーヤーが参加するエキシビション・マッチが計画されていることが明らかになりました。発起人となったのは、昨年までインテルでキャプテンを務め、ミラノ万博アンバサダーにも選ばれているハビエル・サネッティ氏。同氏は、子供たちの暮らしや教育、安全のための活動を行うアルゼンチンのNPO法人「PUPU基金」の創立者であり、エキシビション・マッチで得られた収益金は世界の子供たちの栄養改善に役立てられます。試合はミラノ万博開幕直後の5月4日、会場はミラノ市内のサン・シーロスタジアムとなる予定です。



・テノール歌手アンドレア・ボチェッリ氏が万博前夜祭に登場予定

ミラノ万博開幕の前日である4月30日に行われる前夜祭に、著名なテノール歌手アンドレア・ボチェッリ氏が出演することが発表されました。前夜祭には世界中から多数のゲストが参加する予定で、その様子はイタリア国营放送（RAI）により世界に中継されます。

・ジョルジオ・アルマーニ氏が万博アンバサダーに

「メイドインイタリー」の象徴でもあるファッションデザイナーのジョルジオ・アルマーニ氏が、今回新たにミラノ万博アンバサダーに就任することとなりました。

■ミラノ万博関連ニュース

・食料安全保障の持続的開発に向けたベストプラクティスを発表

ミラノ万博では、万博のテーマ「Feeding the Planet, Energy for Life（地球に食料を、生命にエネルギーを）」に関連し、食料安全保障に関する持続的開発に向けた取組の優良事例（ベストプラクティス）を昨年から募集しておりましたが、2月4日にその結果が発表されました。応募のあった786の提案より選出されたのは18のプロジェクト。地域別に最も多かったのはアフリカの7プロジェクトで、アジア：6、アメリカ：3、欧州：2と続きます。モンゴルの持続可能な牧草地での放牧プロジェクトを始め、ユニークなプロジェクトが揃っておりますのでぜひご覧ください。この18のプロジェクトは万博会場で、映像・展示などで紹介される予定です。

□詳細は以下のURLをご覧ください。

<http://www.expo2015.org/en/news-press-releases-best-practices--the-winning-projects>

・万博会期中イタリアで開催の1,300に上るイベントを紹介ーVerybello.com

ミラノ万博会期中にイタリア全土で開催される多数の文化イベント情報を紹介するデジタルプラットフォームが登場しました。この「VeryBello.com」では、総数1,300にも及ぶイベントを、映画、音楽、オペラなど12のカテゴリーに分類。現在は英語とイタリア語のみですが、最終的には8カ国語で情報が発信される予定です。

□「VeryBello.com」は以下URLをご覧ください。

<http://verybello.it/>



VeryBello!

1000+ CULTURAL EVENTS

Viaggia nella Bellezza

ITALIA PER EXPO 2015



※本通信に掲載の記事・写真・イラストは、日本館がミラノ万博公社(Expo 2015 S.p.A.)等の許諾を得て使用しています。